

令和3年度（2021年度）事業報告

令和3年（2021年）4月1日 から 令和4年（2022年）3月31日まで

特定非営利活動法人 まつもと子ども留学基金

I 事業の内容

1、留学事業

・東日本大震災による原発事故により拡散された放射性物質からの被ばくを避けるために、福島県から避難して高校へ通学していた留学生が2020年3月に全員卒業して、松本市四賀地区で運営している「まつもと子ども寮」は留学生による利用が無い状態となっているため、令和3年度は新たな留学生受け入れのため以下の活動を行った。

①留学生の募集・相談。

②寮施設の維持・整備。被災者のための安心安全な居場所作り。

③福島県で健康相談・セルフケア講座を開催した。

・留学生の受け入れは無かった。

2、体験活動事業

・放射能汚染が低い地域で一定期間過ごしなが、信州の豊かな自然環境の中で、のびのびと体を動かし、安心安全な食事をして、心身をリフレッシュする目的で、例年行なってきた保養事業を実施した。

①感染症拡大防止のため、大人数ではなく、1家族ずつの受け入れとなった。

本来の保養目的である養生型プログラムとして、未病の段階で実践するセルフケアを組み込んだ。具体的には自然療法、温熱療法、よもぎ蒸しなどを取り入れ、日々の生活の中で取り込んでしまう放射性物質、化学物質等の排泄を促し、免疫力を高めてもらった。

代謝を良くするために、のびのびと体を動かすことができるよう外遊び、畑作業などのサポートをした。

安心安全な食事ができるよう支援した。無農薬の畑作りを実施し、収穫した野菜を提供した。

②地域の人たちを対象に、温熱療法や操体法によるセルフケアを体験してもらう「手当の茶の間@まつもと」を毎月1回実施した。2月には親子講座を開いた。よもぎ蒸しの施術も随時行なった。

3、里山地域の保全に関する事業として、松本市四賀地区にある子ども寮の畑、敷地及び周辺環境整備を行った。

4、調査研究・講師派遣事業

・今年度は実施しなかった。

II、事業の実施に関する事項

事業名	具体的な事業内容	A 当該事業の実施日時 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 参加者 E 人数	事業費の金額 (単位：千円)
1、留学事業	①留学生の募集・相談	A 通年 B 松本市、福島県 C 4名(理事、会員、他)	D 東日本大震災により被災した市民 E 10名	4,324

	②寮施設の維持、整備	A 通年 B 松本市四賀地区 C 10名(スタッフ、支援者、ボランティアの皆さん)	D 東日本大震災により被災した市民 E 30名	
	③福島県で健康相談とセルフケア講座	A 通年 B 福島県 C 1名	D 被災地の市民 E 不特定多数	
2、体験活動事業	① 保養プログラム「まつもと de リトリート」	A 通年 B 松本市四賀地区 C 10人(スタッフ、支援者、ボランティア)	D 被災地の小学生とその家族 E ・夏休み4家族(13人)(後半まん防発令のため3家族はキャンセル) ・秋休み1家族(2人) ・冬休み1家族(2人) ・春休み1家族(3人) ・その他不定期の宿泊利用	410
	② 「手当の茶の間@まつもと」(セルフケア講座、よもぎ蒸し体験)	A 2021年4月19日、5月24日、6月14日、7月12日、8月9日、9月4日、10月11日、11月15日、12月6日、2022年1月10日、2月14日、23日(親子講座)3月7日 B 松本市四賀「シェアスペースごじょう(まつもと子ども寮)」 C 3名(講師、スタッフ)	D 松本市民、被災地の子どもとその家族 E 50名	
3、里山地域の保全に関する事業	① 敷地内及び周辺環境整備	A 通年 B 松本市四賀地区 C 5名	D 地域住民、被災地の子どもとその家族 E 20名	70
4、調査研究、講師派遣事業	特になし	A B C	D E	0

(2) その他の事業(特定非営利活動に係る事業以外の事業)

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位:千円)

物品販売事業	実施なし	実施なし	
--------	------	------	--